

令和6年度第1回介護カフェ実施結果 概要

次のとおり、第1回介護カフェを実施しましたので報告します。
出席いただいた皆様、ありがとうございました。

1 第1回介護カフェ

日時 令和6年9月3日（火）午後2時～午後4時15分

会場 那須塩原市図書館みるる1階大ホール

出席者 28人

2 実施内容

(1) 役員紹介

先日、令和6年4月1日から令和9年3月31日までの3年間的那須塩原市介護保険事業者連絡協議会の役員が選任されましたので、新各役員の紹介をさせていただきます。

会 長：高澤 寛人（菅間記念病院 通所リハビリテーション事業所所長）

副会長：高梨 康弘（居宅介護支援事業所生きいきの里 管理者）

副会長：西原 勇（居宅介護支援事業所 リアン 介護支援専門員）

書 記：高橋 順一（ケアハウスハッピーオーシャン 施設長）

書 記：國井 将司（ワールドステイ那須塩原 統括）

(2) 講演

① 演題：送迎の外部委託・共同送迎について

講師：ソーシャルムーバー株式会社 代表取締役 北嶋 史誉 様

内容：人材不足に対応できる体制づくりに関連し、介護保険サービスにおける送迎業務の外部委託について、導入事例の紹介とそのメリット等について講演をいただきました。

主な質問：送迎業務の際のコミュニケーション・申し送りの共有の工夫は？

⇒（回答）：介護タクシースタッフが随時スマートフォンから情報共有するほか、施設到着時に施設担当者への伝言を行っています。また、特に配慮が必要な利用者については、事業所スタッフが対応しているなど柔軟な対応をしています。

【講演の様子】



② 演題：介護人材確保の支援と現状について

講師：株式会社 医療福祉人財センター 代表取締役 渡邊 悟 様

内容：介護事業所における人材不足の課題解消に向けた方策として、人材派遣と特定技能外国人材制度を活用した人材確保に係るそれぞれのメリット・デメリットや費用、2025年の特定技能外国人の訪問介護業務解禁に向けた早期の対応の必要性等について講演をいただきました。

主な質問：外国人材の確保はどのようにしているか？

⇒（回答）：他企業と連携し、ネパール・インドネシア・ミャンマーの人材を確保しています。ただし、就業場所として日本の魅力が低下してきており、外国人材も不足傾向にあります。導入を検討する場合は、早めの対応をお勧めします。

【講演の様子】



(3) 意見交換会・グループワーク「人材の定着について」

参加者を3班に分け、各班のファシリテーターの進行により「人材の定着について」をテーマとした意見交換を行いました。

主な意見は、以下のとおりです。

記載の意見のほか、他事業所との違いや日頃から感じていること、運営側と現場職員の想いの違い、講演者への質問など活発に情報交換をしていただきました。

区分	意見
求人・採用の 現状・課題	・課題として、現場は職員が多い方がよいが、経営面から人件費が増やせない現状がある。また、求人を出しても応募がない。
	・夜勤の人材が少なく、今の職員が頑張ってくれている。
	・今は子育て真っ最中の人材が多い（子育てする方が働きやすい環境作りが必要）
	・長期で働いている職員が多い一方で、新しい職員が定着しない。

採用・求人の 課題と工夫	・一度退職した職員に対して仲の良い職員から連絡し、復帰を促したり、定年退職した者の再雇用をしたりしている（退職の時に印象が悪くならない配慮が必要）。
	・休暇を多く、とりやすくすることで就職先としての魅力を向上している。
	・コンサルを利用し、エリアに強い求人社会を選定・活用している。
職場における 現状・課題	・職員の負担軽減のため、レクを減らすなど見直しをしたいが、利用者からの期待もあり、結局は、現場職員が頑張ってしまう。
	・人材が不足する中でサービスの質の維持・確保のために踏ん張れる職員と踏ん張れない職員がいる。みんなが働きやすい職場作りが必要。
	・事務処理が負担になっている。簡素化したい。
人材の定着の ための職場に おける工夫	・職員個人の思いとやるべきことの区分を明確にすること、ルールの整理・マニュアル化をしたことで働きやすい職場になってきた。
	・意識して感謝の気持ちを伝えたり、職員が希望や不満を伝える場として面談を実施したり、信頼関係を構築に向けた取組を実施している。
	・絶対的な正解はないが、事業所として改善していく姿勢を示すことが必要だと思う。
	・長く勤めるためには職場の人間関係・利用者との人間関係、チームワークが重要だ。
	・利便性の向上のため、職員間の連絡にLINEを活用している。
	・管理者がシフトに入らない、ヘルプ職員を配置するなど、緊急で休みをとりたい職員の代わりに出勤できる体制を確保している。
介護職以外の 出席者の意見	・社内ベンチャー制度をつくり、独立を目指す人材も育成している。
	・いろいろな介護事業所とお話をさせていただくが、人材が十分なところと全くいないところがある印象がある。

【意見交換会の様子】

